

復刻版
第1集～第5集

従来の公刊資料より欠落していた
地方機関誌・紙類を中心に
水平運動・部落史研究に必備の
一次資料を集大成！

水平運動・ 部落史研究資料

差別撤廃
因襲打破
自由平等
人間禮讃

① 更生

全7巻・別冊1
本体揃価格60,000円

③ 初期水平運動資料集

全5巻・別冊1
本体揃価格85,000円

② 警鐘

全1巻
本体価格15,000円

④ 愛国新聞

全1巻
本体価格18,000円

⑤ ワシラフシングン

全1巻
本体価格18,000円

不二出版

★十五年戦争下における部落史研究の基本資料—— ★農村経済更生運動・満州移民の実相を語る資料——

水平運動・部落史研究資料①

●推薦——秋定嘉和・由井正臣・渡部徹（故人）

更生

●巻数——全7巻・別冊1

●別冊——解題（藤野豊）・総目次・索引

●本体価格——揃価60,000円

●復刻の辞——『更生』は、昭和十年（一九三五年）に（財）中央融和事業協会から創刊され、同十六年（一九四一年）八月の第四十号で終刊となる。本誌は、被差別部落における「経済更生」の機関誌として、十五年戦争下のその実態を伝える貴重な資料である。特に被差別部落における満州移民の実相を伝える資料は本誌のみであろう。弊社では、京都大学経済学部図書室上野文庫の完揃い原本を基に復刻し、「解題・総目次・索引」を付して刊行するものである。

●復刻版『更生』推薦文

農村経済更生運動と 部落解放運動を観る

秋定 嘉和

いま、「草の根ファシズム」という言葉が、反省の意味をこめながら語られている。この語に関連して、手あかにそまつた戦前からの「社会ファシズム」・「労働貴族」という言葉も、その体験的実感の有無はともかく使われてきた。われわれは、生きるための生生存競争を重ねている。階級間のものであれ、民族間であれ、人間の「生」のなかに具体化されてきたとき、それは如何なる形相をもつのだろうか。過去も現在も、「ファシズム」のもつたらさと甘さの体験は、この凝視をさけて「虚像大日本」の真の姿は語れない。

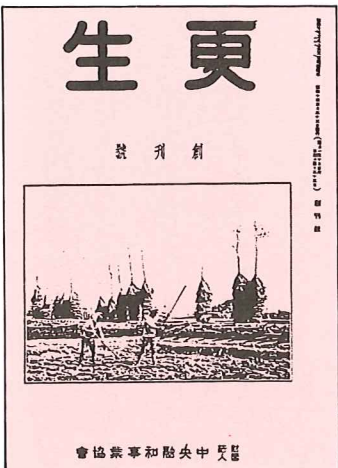
ここに復刻されようとする『更生』（一九三五～四一年）は戦前の中心的な融和団体である中央融和事業協会が刊行した雑誌で、融和運動が提唱した「経済更生運動」の機関誌である。協会には、他に『融和事業研究』『融和時報』など定期刊行の紙誌をもっていたが、とくに部落「経済更生」の中心誌として本誌を刊行したのである。ここにみられるのは被差別農民と一般農家との競合のなかで、農地獲得、農産物販売、金融信用造成などへのさまざまな努力と、きびしい節約工夫を、いわば下からも支えていく姿である。かつての水平運動者の「転向」の姿もまじえての解放への努力が、たとえ天皇融和主義、あるいはファシズム的方向でおこなわれようとも、そのもつ道徳的、生活者の矜持をみると、まさに差別と闘うものであった。それはいまも切ないまでに胸うつものがあり、その批判的継承をせまるものである。

この運動は政府の部落更生政策をひきだすとともに一般農村経済更生政策もみちびきだしたりおりしも植民地朝鮮でも「農山漁村振興運動」が開始されるのである。部落・農村・朝鮮を連結するこの動向こそ現在の新しい視角で追求をまつべき課題ではないか。

五十音順

↑あきさだ・よしかず
池坊短期大学教授

創刊号（昭和10年3月）



被差別部落における満州移民の実相を伝える資料

由井 正臣

雑誌『更生』が中央融和事業協会から発刊されたのは一九三五年三月である。『更生』は、以前から展開されていた部落経済更生運動のなかで、同協会が毎年開いてきた経済更生運動指導者講習者の連絡のための雑誌として創刊された。いわば、被差別部落の「中堅人物」を融和運動につなぎとめるための雑誌であったといえよう。

発刊の目的は雑誌の性格を規定するとともに特徴ともなっている。『更生』は被差別部落における経済更生運動の実態を詳細に伝えている。近年、農山漁村経済更生運動の官庁側の主要資料の刊行があいつぎ、その研究も盛んである。しかし、被差別部落における更生運動の実態については必ずしも十分な史料はなかった。今回の『更生』の復刻は、経済更生運動の重要な側面に新たな光を与えるものとして貴重である。

経済更生運動が生み出した一つの問題として満州移民がある。その影は現在にまでおよんでいる。雑誌『更生』のもう一つの特徴は、被差別部落における満州移民の実相を詳しく伝えていることにある。一九三八年以降、部落更生の軸として満州移民が奨励されはじめるが、同誌は、社会の最底辺にあつて差別されつづける人びとを移民させるためのさまざまな論説とともに、部落からの移民の状況を詳しく報じている。満州移民研究も近年大いにすすんだ分野であるが、被差別部落の移民も含めた総合的な研究はまだ十分ではない。その面でも、今回の『更生』の復刻は、研究者にとって大きな福音であろう。

京都大学経済学部図書室上野文庫だけにしか完全揃いがなかった『更生』の全号の復刻は、部落問題研究者のみならず、政治・経済・社会の諸分野の現代史研究者に歓迎されるものと確信する。

準戦時・戦時下における部落史研究の一級史料

渡部 徹

一九三〇年秋よりの農業恐慌は農山漁村救済請願運動を高揚させ、政府も三二年八月末の臨時議会で時局匡救予算を決めるとともに、自力更生を基本とする官製の農山漁村経済更生運動を組織した。同時に、経済力が一般の三分の一といわれた当時の部落の言語に絶する疲弊困憊に対処するため、地方改善応急施設費という部落救済予算一五〇万円を計上、符節を合わせ部落経済更生運動を融和団体により組織させ、一九三五年よりの「融和事業完成十ヶ年計画」につなげていく。

これは、立案・推進団体である中央融和事業協会が「部落経済行詰り原因の大部分は社会にあり、……立つこともできないように思えるものに自力で立てというのは無理である」と自認しているのであるから、更生運動が欺瞞的で限界性のあることは明らかであるが、しかし全国水平社の生活権擁護運動・部落委員会活動を解発させ、差別のとらえ方を、部落と部落民のおかれている劣悪な生活実態にあると深化させる直接の契機となったという意味で、その意義は大きく、一定の評価を与えなければならぬ。

にもかかわらず、研究史的にみてこれまで軽視されてきた理由の一つは、史料不足にあった。今度『更生』が復刻されることは、この欠を補うことになり、その意義は大きい。さきに復刻をみた『融和時報』と合わせることで、この運動の思想的位置づけ、更生運動の事例をつうじて、経済調査をふまえての長期計画の策定が志向されただけに、各地の地区の実態を知るのも大いに役立つであろう。

↑ ゆい・まさおみ
早稲田大学教授

●第20号(昭和13年4月)目次抄録

- 国民融和促進ニ関スル件——厚生省訓令第七号巻頭言
- 国民精神総動員融和週間に際し全国民に望む
- 中小平和産業の戦時工業転換に就て 平沼騏一郎
- 事変下の農村対策に就て
- 更生の出発点
- 中堅青年研究協議大会に列して
- 地区中堅人物の更生運動
- 中堅者としての本領——二点の疑義について
- 山本文太郎
- 谷口 秋信
- 難波 英夫
- 移民論
- 国民精神総動員天長節奉祝要綱
- 更生事例を語る
- 光明を抱いて計画を着々実行
- 沢庵漬組合を組織し着々更生へ
- 副業に依り地区更生へ躍進
- 応急施設に依つて奮起地区更生へ躍進
- 山陸 武男
- 小林 弘行
- 中村 恵
- 修養会を中心に一路更生へ邁進
- 戦線を巡つて来た人の話
- 〈同志のページ〉
- 経過報告
- 融和週間実施状況
- 鞭うたむ更生精神
- 着々計画進歩
- おわびごと
- 時局と貯蓄
- 融和日後報
- 講習精神を永遠に活かして
- 融和小話
- 小畑 鉄平
- 下山武次郎
- 中山 義勝
- 岡本 政美
- 大西 竜雄
- 西本 義男
- 木 藤 生
- 田口 兼蔵
- 尾崎 昇司
- 向江 秀吉
- 中田 秀一
- 藤沢政太郎
- 躍進
- 矢田鶴之助
- 矢田鶴之助
- 山本文太郎
- 谷口 秋信
- 難波 英夫
- 橋井 真
- 丹羽 四郎
- 枘山 保一
- 平沼騏一郎

↑ わたなべ・とおる
元京都大学教授(故人)

●発行所の変遷
通号1→38号は(財)中央融和事業協会。
通号39・40号は(財)同和奉公会。

↑最終号(昭和16年8月・通号40号)
(通号37号より「資源調整月報」のサブタイトルが入る)



◎水平運動・部落史研究資料〔復刻版〕 第1集～第5集概要

1 更生

○ 原本——昭和10年3月→同16年8月／全40号
 ○ 概要——全7巻・別冊1/A5判・上製・函入・総2,688頁
 ○ 別冊——解題・総目次・索引(分売価1,000円)
 ○ 解説——藤野 豊(日本近現代史研究者)
 ○ 本体価格——揃価60,000円(’96年2月再刊)

2 警鐘

○ 原本——大正9年9月→大正11年8月／全19号(第2巻第1号は欠号)
 ○ 概要——B5判・上製・函入・572頁
 ○ 解説——松尾尊允(京都橘女子大学教授)
 ○ 発行——奈良県磯城郡大福村三協社
 ○ 本体価格——15,000円(’88年10月刊)

3 初期水平運動資料集

○ 原本——大正11年から昭和2年にかけての全国21紙・誌を収録
 ○ 概要——全5巻・別冊1/A5・B5・A3判・上製・函入・総2,042頁
 ○ 別冊——解説・総目次・索引(分売価1,000円)
 ○ 解説——藤野 豊
 ○ 本体価格——揃価85,000円(’96年2月再刊)

4 愛国新聞

○ 原本——大正12年5月→昭和2年3月
 『三重水平新聞』全21号
 『愛国新聞』改題『三重農民新聞』全47号(第31・33・36・44・46号は欠号)
 ○ 概要——B4判・上製・函入・314頁
 ○ 解説——黒川みどり(静岡大学助教授)
 ○ 発行——三重県松阪 愛国新聞社
 ○ 本体価格——18,000円(’90年10月刊)

5 ワシラノシンブン

○ 原本——大正13年7月→大正14年11月
 『ワシラノシンブン』改題『解放新聞』全30号
 ○ 概要——B4判・上製・函入・246頁
 ○ 解説——園部裕之(日本近代史研究者)
 ○ 発行——大阪府南河内 ワシラノシンブン社
 ○ 本体価格——18,000円(’90年10月刊)

○ 弊社は注文制です。
 お近くの書店へご注文ください。
 ○ 本カタログ中の表示価格は、
 全て消費税を含んでおりません。

不二出版

〒113 東京都文京区向丘一丁目二二
 TEL ○三―三八―二四四三三
 FAX ○三―三八―二四四六四
 振替 ○〇一六〇二一九四〇八四